

全国連盟通信

第 30 期 No.8
2013年10月22日
発行責任者
和食昭夫



新日本スポーツ連盟

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2大住ビル402

TEL:03-3986-5401 FAX:03-3986-5403

Eメール:cbf31680@pop02.odn.ne.jp URL <http://www.njsf.net>

つなごう 支援の輪

「スポーツセミナーin 岩手」開催報告



2013年9月28～29日(土・日)、岩手県盛岡市・つなぎ温泉「湯守ホテル大観」にて、「スポーツセミナーin 岩手」が開催されました。

このセミナーは、大震災東北復興支援として新日本スポーツ連盟岩手県連盟が主管し、著名な講師陣や源泉が湧き出る高級ホテル会場、雄大な自然に親しめるスポレクコース、終了後の観光バスなどのおもてなしで、「大震災に負けて

たまるか」と頑張っておられる連盟方々の努力が十分に伺えるセミナーでした。

参加者は、地元岩手ほか、宮城・秋田・福島・東京・神奈川・千葉・埼玉・栃木・愛知・京都・大阪・和歌山・兵庫・福岡から総勢約75名。

今回のセミナーを開催するにあたり、各方面から多大な御協力を賜りました。主管地・岩手県連盟はじめ、皆様のご奮闘に感謝し、この場を借りて御礼申し上げます。

講義 ・ スポレク(卓球・ランニング・ウォーキング) ・ 交流会(「盛岡さんさ踊り」など)



高橋 薫氏

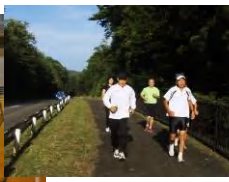
富士大学教授/
富士大学硬式野球部部长/
岩手県生涯スポーツ推進委員会委員
毎年「日本大学野球」上位に。
準優勝や昨年ベスト4
なぜ強いのか。
・・・練習、指導方法など



立身 正信氏

岩手大学学生健康管理センター所長

- ・生涯スポーツと健康
- ・太極拳入門～指導



CONTENTS

- 1 「スポーツセミナーin岩手」開催報告
- 2 誰もが祝福できる平和の五輪をめざそう
- 3 培ってきた「批判を通じて創造を」の方法・視点の内実を発展させよ
- 4 広島県連盟づくり「第3回広島県連盟準備会」報告
- 5 2013年国民平和行進「引き継ぎノート」から
- 6 韓国民連帯「2013国際平和スポーツフォーラム…」大会の意味したもの
- 7 機関誌『スポーツのひろば』の普及を!
- 8 2013年全国競技大会の開催にあたって。主なスケジュール

誰もが祝福できる平和の五輪をめざそう

新日本スポーツ連盟理事長 和食 昭夫

3都市による招致レースは、イスタンブールはシリアの内戦へ米仏の介入が想定される危機、マドリードは経済危機、日本は福島原発の放射能汚染水流出危機と、それぞれ重大な問題点を抱えた中で、その結果、IOCは、相対的に「安全」「確実」と思われる東京を選択したのです。いわば「消去法的選択」です。

他方、福島原発の汚染水は「コントロールされている」「完全にブロックされている」などの安倍首相による招致演説での発言は、黒を白と言いくるめる無責任かつ不誠実な態度です。オリンピック精神、フェアプレイの精神とは相容れないものであることを強く指摘しておきたいと思います。

私たちは、この間、オリンピック運動の目的と理念を実現する立場から、「東京招致」に「異議あり」と表明し、行動してきました。それだからこそ、たとえ「消去法的選択」であったとしても、IOC総会の総意として東京開催が決まった以上、2020年東京五輪が、オリンピック運動の基本理念と目的の実現に貢献するものとして開催されるよう引き続き発言し、行動することが責務だと考えます。

私たちは、あらためて、2020年東京五輪の準備に当たって、「オリンピズムの目標は、スポーツを人間の調和のとれた発達に役立てることにある。その目的は、人間の尊厳保持に重きを置く、平和な社会を推進することにある」をはじめとするオリンピック憲章の理念と目的を実現するために最善を尽くすことをよびかけます。

当面、開催準備に関わる全ての関係者が次の点で協力し合うことをよびかけます。

- 1、選手と都民の声が正しく反映され、必要な情報が公開されるなど、「選手と都民が主人」の準備活動を貫くこと。
- 2、オリンピック開催に便乗した大型開発事業へのバラマキや浪費を抑え、都民の暮らし、福祉、教育、環境保護などとのバランスのとれた施策を推進すること。
- 3、過大で一面的な「メダル競争」を選手たちに強制せず、長期的で抜本的な選手強化方針を確立し、推進すること。
- 4、競技施設の整備は、選手や観客の快適性を確保するとともに、環境の破壊、既存のスポーツ施設の縮小・廃止、液状化などの問題点を考慮し、大会後の利用を含む都民のスポーツ振興施設整備計画などを検討すること。
- 5、スポーツ界から一切の暴力をなくすために全力をあげること。

最後に、平和と友好の祭典とするための最大の保障は、オリンピック精神を象徴する憲法9条をわが国が持っていることです。東京開催選択の要因の一つに「憲法9条の平和の日本」があったことは間違いありません。

中国や韓国をはじめアジアとの友好と平和の国際交流をすすめることは2020年東京五輪開催準備に貫くべき最大のテーマです。敵を作り出す「集団的自衛権」ではなく「スポーツは平和とともに」こそ、オリンピックにふさわしいのではないのでしょうか。



培ってきた「批判を通じて創造を」の方法・視点の内実を発展させよう

新日本スポーツ連盟会長 永井 博

2020年オリンピック・パラリンピック(以下オリンピック)の東京開催が、9月8日未明IOC総会によって決定しました。私たちは、この間オリンピック運動の理念と目的に照らして、東京招致は祝福されないと、異議を唱え行動してきました。それだからこそ、選手たちの努力もあってIOCから「東京開催」を付託された今、私たちはその期待に応えるオリンピックになるよう、都民・国民目線、スポーツ愛好者目線で対処していかなければならないと考えます。

ここでは、都議会第3回定例会の開会日の9月18日、都議会議場前でおこなわれた集会で、新日本スポーツ連盟東京都連盟の宮内泰明事務局長が行った発言を紹介しながら、一緒に考えてみたいと思います。

一つ目の視点・目線は、オリンピックを開催する大義を、改めて明確にすることです。言うまでもなく、オリンピック運動の基本原則は「世界の友好と平和」「スポーツは基本的人権」にあります。ところが、安倍総理は過去の歴史認識をねじ曲げ、さらに「集団的自衛権」の行使できる国に突き進もうとしています。東京招致を主導してきた石原前東京都知事も、この流れを推し進めてきました。これはオリンピック運動の理念と相容れないものです。猪瀬都知事には開催都市東京の責任者として、オリンピック開催の大義を都民・国民の前に、堂々と明快に明らかにすることが求められています。

二つ目の視点・目線は、東日本大震災・福島第1原発事故からの復興を置き去りにするようなオリンピックにしてはならないということです。故郷を追われ、避難生活を余儀なくされている15万人以上の人々の生活と生業の再建のめどはたっていません。安倍首相は「放射能汚染水はコントロールされている」と、国際的に公言しました。国民の知恵と力を集め、被災者の生活と生業の再建、原発事故の収束を推し進めるオリンピック開催になるよう、施策の実施を迫りましょう。

三つ目の視点・目線は、競技施設の整備は、選手や観客の快適性を確保するとともに、環境の破壊、既存のスポーツ施設の縮小・廃止をしてはならないということです。IOCに提出した施設整備計画には、野鳥が生息する葛西臨海公園の自然を壊してカヌー競技場を作るとか、住民が使っている野球場20面が壊されて馬術競技場にする計画、有明のテニスコートは14面も潰される計画があります。やるべきは、オリンピック開催を契機に、スポーツを楽しみたい都民・国民が、安心、気軽にスポーツが出来る環境を整えることです。今、この一文をまとめている10月14日は、1964年に開催された東京オリンピックを記念して制定された「体育の日」です。その趣旨は「スポーツにしたしみ、健康な心身をつちかう」、となっています。この趣旨が、今こそ生かされなければなりません。

四つ目の視点・目線は、選手強化のあり方です。この点、体罰・暴力ときっぱり決別する方針・実行が必要です。スポーツ界に深く根付く暴力・体罰問題は、個人の問題ではありません。こうしたことを醸成してきたスポーツ界の体質こそ、問われなければなりません。選手強化においても、選手が主人公であること、選手の人権が尊重されることが、スポーツ界全体の思想として確立されることが必要です。

五つ目の視点・目線は、オリンピック開催準備と国民・都民生活向上の2つの課題を両立させることです。臨海部の選手村や競技場の建設計画について、専門家は建設候補地の多くで液状化対策のために莫大な費用がかかると指摘しています。8km圏内のコンパクトな施設配備を口実に、大型開発が大手を振り、その付けが国民・都民に回されることがあってはなりません。

私たちは、50年に及ぼうとする運動の中で、ある事象に立ち向かう時「批判を通じて創造を」という方法・視点を培ってきました。国民・都民の間にスポーツ・オリンピックに対する興味関心が大きく拡がっている今こそ、この方法・視点の内実を深化発展させ、スポーツ・オリンピックの発展のために、国政・都政の民主化のために、力を発揮する時だと思えます。

1、開催期日と場所 2013年10月5日(土) PM1:00~3:00 東区二葉公民館

2、出席者

寄 隆秀(準備会事務局:命宝会:空手)、野崎 進(準備会会長:広島県卓球協議会会長)、
松本氏(グランドゴルフ)、中原氏(元マツダ勤務、山登り、町内会副会長)、
吉岡氏(元JR勤務、現在卓球を中心にスポーツを行う。ラージボール大会などにも参加している)、
大西氏(中学時代は卓球部、11/10の県知事候補者一寄氏とのつながり)、
北川 登(全国連盟副理事長) 以上7名

3、7/27以降の活動報告

○これまで準備会に参加していない種目関係者の参加の要請を行ってきたが、スキー、労山の関係者は都合つかず欠席

○9/16尾道での卓球大会は、準備会の寄さんも応援参加。

大会自体はミックス団体戦(男子2人、女子2人で編成)で40チーム、160人の参加で成功。
尾道運動公園は、県立の施設で卓球台も30台設置可能で大規模大会もOK。その他野球場なども揃っている。1人でも参加を認め当日即席でチームを組んで参加できるようにしていた。来年は広島市内でぜひとも開催していきたい。市内には卓球台30台ほどおける安佐北区体育館などあるので、私立大学など新しいところへ宣伝して開催していきたい。

○10/27ウォーキングの取り組み

宣伝を民医連などの民主団体や公民館におかせてもらうにしたり、県庁、市役所の記者クラブにもチラシを置くなど宣伝を展開。現在のところ具体的な参加数はまだつかめていない。近松市議が連絡先になっている。

○サッカー

全国サッカー協議会運営委員の及川氏(広島に長期出張中)と地元の山下氏(子供サッカーの指導者)は、来年に向けてサッカー大会を開催しようと打ち合わせ2回行ってきた。

4、討論の中で出された意見

○卓球では、市や県の大会が目白押しでラージボールも盛ん。そのような中でスポーツ連盟が入っていくのは大変である。より魅力ある大会でないと駄目である。

○その他のスポーツでは、ミニテニス、ソフトバレーが盛んである。

○もっと下からの運動を進めて、結成の機運を盛り上げていくようにすることが必要ではないか

○広島市スポーツ協会主催「体罰に頼らない指導法とは」というテーマのスポーツ指導者むけシンポジウムが開催されたことが紹介された。パネラーは、安芸区南高のサッカー部の監督、米国ワシントン大アメリカンフットボールの元コーチの方、そして広島経済大学(スポーツ社会学)教授の内海和雄氏(一橋大学名誉教授、元スポーツ連盟東京都連盟理事)でした。内海氏には今後、いろいろとご協力をいただけるよう要請をしました。

5、今後の県連盟づくりについて

①来年に向けてスポーツ活動そのものをいかに発展させるか。

現在考えられるのは、卓球、ウォーキング、ミックスバレーボール
今後増やせる種目はないか、それをになう人を発掘していく。

②財政基盤の整備については、今回あまり議論できなかった。

準備会と正式県連盟結成に向かって、加盟費の検討を行い次回準備会で討論していく。

③引き続き、各種目から役員スタッフを呼びかけていくことが大事である。そのために、全国連盟と広島県連盟準備会の呼びかけ人でもっとスポーツ関係者に呼びかけていく。

④次回の準備会を、11月23日(祝・土)開催予定(場所は未定「二葉公民館は休館で使用不能」)

2013年国民平和行進 「引き継ぎノート」から

5月6日、東京・夢の島「第五福竜丸」前を出発した「2013年国民平和行進」。スポーツ連盟の各種目から今年も“スポーツは平和とともに”の旗で行進に参加しました。この行進への参加者の思いを記したノートをまとめました。

*「引き継ぎノート」は、広島県連盟準備委員会の皆様より返送いただきました。

5月6日(月) 快晴 ・夢の島に子ども大人もチョット高齢者も集合しました。歌ごえのステキな音楽が流れています。今年は憲法9条があぶないという危険な状況のもと、平和の大切さを感じながら歩きたいと思います。(卓球・K) ・『スポーツは平和とともに』昨年に続き参加。2013年も元気に歩きましょう!(F) ・「アベノミクス」であべがはしゃいでいます。昨日は背番号96のユニホームで国民えいよ賞…。健保改悪絶対許されません!!共に歩きます。(スキーS) ・憲法改悪は絶対に許せない、原爆は絶対に許せません、の思いを強く仕事を休んで参加しました。大きな声を上げながら歩きます。(T) ・今年も歩く「スポーツは平和とともに」(W) ・核はいらない、多くの人々と声を大きく!(M) ・国民平和行進の成功を!原爆を売り込む無知で、サギ師の安倍を許さない!(K) ・政治は段々、あやうい発言にみちてきています。この平和行進も含めて、押しかえそう!(I) ・日本の平和憲法が戦争の方向へとゆがめられ政治が行われています。今、私達は、一人一人が思想信条をとわず平和憲法を守る声を上げていかなければと思います。さらに、核兵器使用のおそれが世界にあらわれています。核兵器を無くそうの声を高らかに上げていきましょう。(A) ・久しぶりの参加です。平和行進を…。核兵器も原爆もこの世界に必要な。(M) ・普段なにもしていないので罪ほろぼしのつもりで参加しました。来年も又、歩きたいと思えます。(T) ・今日は天気も良く平和行進日和。核兵器、原爆ゼロの平和な世界を!!(M)

5月7日(火) ・芝公園→川崎市役所 今回も、2日目を歩きます。憲法を守る闘い、原爆をなくす闘い、みんなで力を合わせて、頑張ろう。スポーツ連盟東京は3名参加です。(H) ・ヒロシマ、ナガサキ、そしてフクシマ 制ギョのしようない核はすぐなくそう(K) ・戦争を知らない人たちへ この国をだめにしようとしている人たちへ 怒りをもやして、平和行進に参加しています 憲法9条は日本の宝です。世界文化遺産に申請したいと思っています。(M) ・ノーモアヒロシマ、ノーモアナガサキ ノーモアフクシマ、ノーモアヒバクシャ 平和のために歩き続けます。(O) ・はじめて芝公園→品川鈴ヶ森公園まで歩きました。(いつも6日に歩いています) ・1日目に続き今日も歩いています。今年のシュプレヒコール(p i c e c o l l)は今風でおもしろい。平和と核兵器のない世界をめざして歩きます(A)

5月7日(火) 東京・神奈川引き継ぎ式16:00(川崎区役所にて)420名 ・六郷土手から参加 14:15~ Y、K、S、F、Y、F夫妻、K(4年目)、I(20年目)元気です。川崎市役所にAさん。となりの県と一緒に平和行進するのは全国の中でも東京と神奈川ではないかと司会者のあいさつ。 ・今日は強い風、核廃絶を願って又、13日間を無事に歩けるよう、祈りながら行進しました。 ・県労山のIです。昨年に引き続き参加しました。 ・あわせて計11名が出むかえました。

5月8日(水) 川崎市役所→新城公園9:30

・今日は少し参加が少ないようです。五月晴れで風もなく気持ちよいです。(F、I、K、T夫妻、O、O) 午後、中原平和館→新城公園(M、N、K、T、M、I、I、S)

5月10日(金) ・初めて参加しました。予想外に多くの方が参加

され、良かったです。(S) ・十日市場から中山区役所まで歩きました。あなたと私の一歩が平和を築く…(K夫妻) ・たった1日でしたが、ただ歩き続けるだけなのに身にこたえました。広島まで、長崎まで、世界まで、平和の声を届くことを願っています。(K)

5月11日(土) ・港区役所から鶴見COOP上末吉店まで、雨の中Kさんと歩く (K、Y、T)

5月12日(日) 県庁から上大岡 ・昨日とうってかわっていい天気のもと(あついくらい)歩いた。(Y、A、F)

5月13日(月) 港南区上大岡一磯子区新杉田コース ・別団体に参加しましたが、連盟旗が眠っていたので代役をかって出ました。(A) 5月13日(月) 立場→本郷台 Bコース ・風も日差しも強い中、ガンバリました。(F、S、H、K、F、S、Y)

5月14日(火) 三浦コース 晴天 ・昨日にひきつづき参加しました。地元です。(Y) ・三浦コース途中→横須賀コース参加です。気温も上昇し熱さの中皆さん奮闘されています(K)

5月16日(木) 藤沢→平塚 曇 ・薄い雲が空に直射陽光が弱く、平和行進するには恵まれた条件での行進でした。核の危険性について、身近なところで起こっている最近の日本、世界状況に鑑み、改めてこの行動の重要性を体感しています。(K、I)

5月19日(土) ・13日間通し行進元気に歩きました。(I、K) ・神奈川から引続いて歩いています。心配していた天気、快晴となり気分も快調。スポーツは平和とともにの旗をひらめかせ!ながら(T) ・スポーツ連盟の旗を引き継ぐ。伊藤ウォーキングクラブ結成8周年、毎年参加して旗を引き継ぐのを会の方針としている。(T)

5月24日(金)、25日(土)、26日(日) ・3日間通し行進しました。暑い毎日でしたが、楽しく平和を訴えて歩けました。地元の人たちが大勢参加してくれて、感動の連続。いいね!!今でしょう!1コール、歌声も入れて!スポーツは平和とともに……広島につなげていきましょう。(T)

5月31日(金) ・今日はあれました。スポーツ連盟の旗をさがしましたがわからない。(O)

6月20日(木) ・草津市役所→滋賀県庁 途中、民医連からジュース、アイスクリームなど提供があった。 ・やっと会えた スポーツ連盟のリュック 今日雨 (N、H、M、S、H)

6月21日(金) ・朝から雨。9時集会 大津市役所→山科公園→大津市長(総務課長の代読)からメッセージをもらう。残念ながらフィリピンから参加のマラヤさんは、足の故障でリタイアとの事でした。(H、Y) ・昨日は、行進終了後県職員組合で参加者の交流、意見交換をおこなった。マラヤさん半月盤損傷で歩けなくなったが、日本語を少し憶えて宣伝カーでのアピールをするなど積極的に行動をおこなっていたとの話を聞いてうれしくなった。私の娘がマラヤさんの通訳ということで、草津市役所で通訳を行なった。又、草津市では全ての支所で署名用紙をおいているということは、これまでの運動の成果だと思った。(N) ・滋賀から引き継ぎ 労山7名、野球1名、ランナース1名。

6月23日(日) 雨 ・N氏と5名、ランナース1名

6月30日(日) ・奈良より。7月7日の反核マラソンに柏原から1名参加します。(A)

韓国市民連帯主催「2013 国際平和スポーツフォーラム及び反戦・反核・平和マラソン」大会の意味したもの考える

国際活動局長 伊賀野 明

すでに代表団からの報告は『スポーツのひろば』10月及び11月号、連盟HP等に掲載されている。ここでは、フォーラムに焦点をあてながら、市民連帯側の開催意図を明らかにし、かつ各国代表報告のエッセンスを紹介し、韓国版国際フォーラムの一端を紹介したい。

◎市民連帯は、その発行パンフレット「ご招待の案内」（日本文）で次のように述べている。

・2008年から市民連帯は「我が国のグローバルな課題への取組と“平和のためのスポーツ活動”に関心を持って、新日本スポーツ連盟と連携して2011年の第1回反戦反核平和のための500km国土縦断マラソン大会を成功に終えた」。これは、「韓半島を中心に永遠な平和に向けた念願を込めた」ものであった。

・“平和はスポーツと一緒に”という旗を掲げた今回の大会は、フォーラムとマラソン大会を通じて、希望と平和を知らせたマラソンの歴史的な意味を活かしつつ、我が国の祖国分断の悲しみと近代化にともなう副作用－韓国スポーツ界の不正腐敗、勝負操作、運動選手の人権や学習権の侵害、性暴力など－問題を国際的な場に引き出そうとしている。そして、各国の市民団体と一緒に市民運動的な次元で持続的な国際的な連帯を通じて、その代案を一緒に模索する」

・フォーラム及び反戦・反核・平和マラソン大会は、「イムジンガクを越えてシニジュまで、次は、中国とロシアを経て、全世界を一緒にする平和のスポーツを成すその日まで続く」と結んでいる。

イムジンガク・臨津閣＝韓国地名、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）との間の軍事境界線付近を見渡すことのできる展望台。シニジュ・新義州市＝朝鮮民主主義人民共和国地名。鴨緑江を挟んで中華人民共和国丹東市と向かい合う国境の街。鴨緑江には中朝友好橋が架かり、中朝交通の要衝となっている。

私は、この招待案内から、韓国のスポーツを通じての「平和」への要求が、大地と民族の統一、国際連帯とを一体のものとしてとらえていることを、強く感じた。

◎ナ共同代表（韓国市民連帯）の基調報告の提起。世界の代表的な市民運動（グリーンピースと国境のない医師団）に着目し、2007年設立の“国境のない教育者会”（教育を受ける権利の拡大と発展途上国の教育開発を通じて人類諸生活の質の増進に寄与する目的を有する。韓国も奮闘。）にならって、「国境のない市民スポーツの市民運動団体の形成」の提唱をする。世界の平和のための地球規模のスポーツの市民運動団体のネットワークを構成したらどうか。（*もう一人の発言紹介は別途とした）

◎アラン代表（仏・FSGT代表）の提起。「スポーツが平和につながるために、スポーツを変えなければいけない」とのテーマで報告。平和について「平和ということは戦争がないということだけではなく、平和は価値、姿勢（態度）、行動、生活の仕方が、日常生活で暴力や争いに繋がらないようにするということである」。この観点と一致するとして、FSGTは、「10年間のフランス連携」に加盟し、その8つの行動目標の中で、スポーツとその活動の広がりをめざしているとした。その一端の紹介として、セルフジャジの7人制サッカー、パレスチナでのパレスチナ人が主人公のスポーツ協力の促進、FSGTは男女平等を重視、女子の柔道・棒高跳び等の開拓、ビビチタ等々。最後に、原発に反対する日本の友人たちとの連帯を強調。

◎聞間副代表（日本代表団・副団長）の報告テーマは、「生活に根ざしたスポーツ活動－愛好者のニーズに応え、支えられるスポーツ・平和活動」。報告の力点は、新日本スポーツ連盟の地域連盟である「スポーツ連盟・板橋」が具体的にどのように活動しているかを生き生きと報告した点にある。板橋レディースバレーボール協議会の女性達の輝き、地域の子どもまつり・ふるさと祭りへの参加、さらには、反核平和マラソンを中心とする反戦・核兵器廃絶・原発ゼロ・震災復興などへの具体的取り組みを紹介した。

*国際活動局では韓国訪問団の報告集を別途作成している。フォーラムでのナ代表、アラン代表及び聞間報告の全文（聞間報告は『スポーツのひろば』11月号にも掲載）を掲載し、韓国市民連帯のYongchul Chungさん報告は要約掲載。以上の詳細必要な方は、国際活動局あて照会下さい。

機関誌『スポーツのひろば』の普及を！



最新号 2013 年 11 月の購読部数は 1,943 部でした。

第 30 期方針の「1 クラブ 1 名以上の読者を！」には、ほど遠い状況ですが

2,500 部以上を達成すれば、定価 290 円に改定することを理事会で確認しました。

すべての組織・役員で普及活動に取り組みますようお願い致します。

都道府県	「スポーツのひろば」購読部数推移					2013・11月号 都道府県分局の購読率(会員数比/クラブ数比)						評価 (*1)
	2012・3月号 購読部数	2013・11月号 購読部数			12・3~ 増減	会員数比			クラブ数比			
		継続	キャンペーン	①合計		2012/12 分担金現勢 会員数 ②	購読率 購読部数 ÷会員数 ①÷②	購読率 順位	2012/12 分担金現勢 クラブ数 ③	購読率 購読部数 ÷会員数 ①÷③	購読率 順位	
北海道	54	54	1	55	1	1,929	0.03	21	213	0.26	21	×
秋田県	全国直送	全国直送										
岩手県	全国直送	全国直送										
宮城県	77	68	4	72	▲ 5	572	0.13	4	40	1.80	5	○
福島県	全国直送	全国直送										
埼玉県	36	23		23	▲ 13	412	0.06	11	34	0.68	12	×
東京都	314	267	115	382	68	8,859	0.04	16	853	0.45	15	×
千葉県	90	85	18	103	13	2,520	0.04	17	230	0.45	16	×
神奈川県	233	217	21	238	5	3,310	0.07	10	308	0.77	11	×
長野県	全国直送	全国直送										
富山県	40	32		32	▲ 8	207	0.15	2	5	6.40	1	○
石川県	11	11	2	13	2	117	0.11	6	5	2.60	3	○
静岡中部	10	10	0	10	0	300	0.03	20	30	0.33	18	×
静岡西部	5	5	1	6	1	149	0.04	18	6	1.00	8	△
愛知県	81	68	3	71	▲ 10	4,220	0.02	23	306	0.23	23	×
岐阜県	70	70		70	0	633	0.11	7	63	1.11	6	○
三重県	42	39	6	45	3	307	0.15	3	19	2.37	4	○
滋賀県	40	39	3	42	2	500	0.08	9	49	0.86	9	×
京都府	72	66	23	89	17	4,731	0.02	22	361	0.25	22	×
和歌山県	42	39	7	46	4	372	0.12	5	42	1.10	7	○
大阪府	170	153	14	167	▲ 3	3,384	0.05	13	338	0.49	13	×
兵庫県	129	109	7	116	▲ 13	2,279	0.05	12	300	0.39	17	×
香川県	3	3		3	0	4	0.75	1	1	3.00	2	○
徳島県	92	92	3	95	3	1,125	0.08	8	114	0.83	10	×
高知県	23	23		23	0	680	0.03	19	71	0.32	19	×
福岡県	60	52	7	59	▲ 1	1,280	0.05	15	183	0.32	20	×
小計	1,694	1,525	235	1,760	66	37,890	0.05		3,571	0.49		×
種目・直送	174	170	13	183	9	○＝クラブ数比1.00以上、会員数比0.10以上 △＝クラブ数比1.00以上、会員数比0.10未満 ×＝クラブ数比1.00未満						
合計	1,868	1,695	248	1,943	75							

2013年全国競技大会の開催にあたって

新日本スポーツ連盟
理事長 和食昭夫



全国から結集されたチーム、選手、役員のみなさん

2013年全国競技大会に参加された皆さんを心より歓迎し、お礼申し上げます。

東日本大震災から二年半が過ぎました。スポーツを再び楽しむことが出来る真の復興に向け継続した支援が大切です。さらに、福島原発の放射能汚染水の流出問題は、原発事故はいまだ「コントロール」はおろか収束していない深刻な状況です。

この間多くのスポーツマンがスポーツを通じて被災者を励ます活動を行ってきました。あらためてスポーツが私たちの生活にとってかけがえのないものだということが認識させられています。

先のI O C総会は、2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催を決定しました。このオリンピック・パラリンピックを、一部の人の利益のためではなく、スポーツを通じて人々がお互いに尊重し合い敬意を払う社会とするムーブメントとして成功させるために力を尽くすことをよびかけます。

全国スポーツ祭典と隔年で開催される全国競技大会は、全国スポーツ祭典と同様、多くの選手・チームの目標となり、国民のスポーツ要求実現と結びついて発展をしてきました。本年は、11競技種目（水泳・軟式野球・バレーボール・卓球・テニス・サッカー・バドミントン・ソフトボール・ウォーキング・スキー・ミックスバレーボール）を実施します。

選手・チームのみなさんが、フェアプレイ精神を発揮しつつ、自己の可能性にチャレンジされ奮闘されることを期待します。

最後になりますが、本大会成功のためにご支援いただいた個人、団体、自治体等多くの皆様に、厚く御礼申し上げます。

第31回定期全国総会までの主なスケジュール（2013年10月～2014年3月）

月日	全国会議・事業	都道府県連盟・全国種目組織
【2013年】		
10月	4日	ひろば11月号発行
	5～6日	ソフトボール東日本大会（厚木市）
	6日	全国サッカー東日本大会（千葉）
	13日	原発ゼロ統一行動（東京他）
	19～20日	東海ブロックセミナー
	27日	広島ウォーキング教室
11月	1日	ひろば12月号発行
	2～3日	全国軟式野球大会（岐阜）
	3日	全国水泳競技大会（東京）
	10日	ソフトボール第5回西日本大会（京都）、全国サッカー西日本大会（大阪）
	16～17日	バレーボール全国競技大会（栃木市、埼玉県久喜市）
	16～17日	テニス全国競技大会（愛知）、全国サッカーシニア大会（大阪）
	30日～12月1日	全国ミックスバレーボール大会（静岡）
30日～12月1日	全国卓球選手権大会年代別の部（札幌市）	
12月	1日	全国サッカーファイナル大会（兵庫）、富山県連盟総会、
	7～8日	全国卓球選手権大会一般の部（小田原市）
	7～8日	全国バドミントン競技大会個人（名古屋市）
	8日	愛知：高蔵寺弾薬庫一周平和マラソン
	10日	ひろば2014年1・2月号発行
	14～15日	30期第7回理事会（第31回総会代議員数など最終確認）
16日	第31回総会招請状・組織現勢調査票・30期活動報告等送付	
【2014年】		
1月	5日	全国縦断新春マラソン（大阪、他）
	12日	全国縦断新春マラソン（東海、他）
	20日（予定）	組織現勢調査と30期活動報告の提出締切り。31回総会代議員受付開始。
2月	8～9日	30期第2回評議員会・第8回理事会（武蔵野美術大学・新宿サテライト）
	20日（予定）	代議員受付締切
3月	1～2日	全国スキー競技大会（戸狩温泉）
	3日（予定）	第30回定期全国総会議案書送付
	15～16日	31回定期全国総会（全労連会館 東京：御茶ノ水）

* 追加・訂正があれば全国事務局まで随時ご連絡ください。